

よりて、心得違ひ有ましくや難レ計候、

畢竟ハ穀物の売買ニ付て、人に出し

ぬかれぬやうにといふ迄の事なり、もし

百姓の家にて酒食その外乃品を

商ふものあれハ、村中のもの自然と

飲食を始、諸事に奢付き、農業を

次と成すやうになり、以て乃外なる

事故、すへて町人めきたる商ひは

決して致す間敷候、且多葉粉の事、

今は貴賤とも日用のものとな候、し

かれとも成へきたけ、吞ざるにしくハ

なく候、扱酒ほど害の甚しき物は

なし、第一怠りを生し、奢を長し

喧嘩・口論もこれより起り、身をも